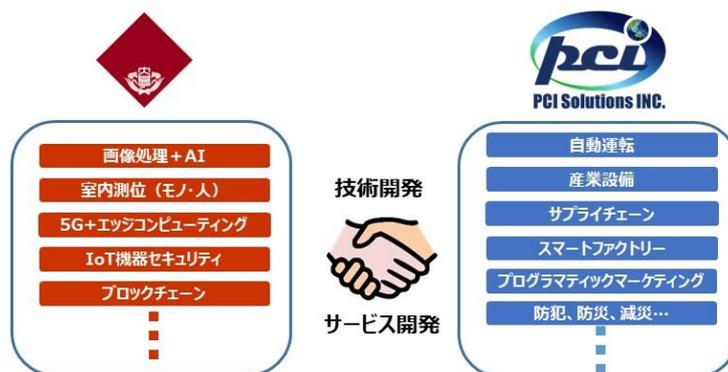


## 『早稲田大学理工学術院総合研究所との共同研究を開始』

—高度な次世代 IT 技術の開発とビジネス創出に向けて—

PCI ソリューションズ株式会社（代表取締役社長 天野豊美）は、早稲田大学理工学術院総合研究所（所長 木野邦器）と、このたび、次世代 IT 技術の開発とその技術を核とした事業基盤の創出を目的とする共同研究契約を締結しました。

本共同研究では、「自動運転」「画像処理」「5G」「エッジコンピューティング」「位置測位」「セキュリティ」等の要素技術をキーコンセプトとし、スマートで安心な次世代社会へ貢献する研究・開発に共同で取り組むとともに、新しいサービス価値を創造することで事業基盤を構築し社会に発信して参ります。PCI ソリューションズは、早稲田大学西早稲田キャンパス内 55 号館に設けられた研究室を拠点に、以下各号の目的で、本共同研究開発を強力に推し進めていく所存です。



1. 「自動運転」「5G」「エッジコンピューティング」「画像処理」の分野では、移動環境下でのコネクティッドカーの運転支援、自動運転、完全自動運転を目指して、画像のリアルタイム伝送を可能とするシステムの構築に必要な処理・伝送技術の研究開発を行うとともに、自動運転支援への適用を目指したサービスモデルの構築を目指します。
2. 画像認識技術と AI を組み合わせ、画像の解析・データ化・マッチングを行う画像認識エンジンのアルゴリズムを開発し、その技術に基づき新たなサービスの提供を目指します（当社グループの株式会社リーふねっとが参画）。
3. 産業現場における労働生産性の向上が叫ばれる中での、「ヒト・モノ」の動き（移動）の最適化、社会的要請である防犯・防災（減災）による「安心」できる社会基盤の構築で必要となる「ヒト・モノ」の位置や動きを精度よく且つリアルタイムに伝送し、シグナルを情報へと変換・利活用する技術の研究開発とビジネス化を目指します。

4. 上述の情報を基盤とする社会ではますますセキュリティに関する要請が高まることが必須です。特に、IoT/IoE を基盤とする社会では「誰なのか」「何なのか」をいち早く確実に相互認証する基盤がなくては社会自体の成立が危ぶまれます。このような技術開発とサービスへの展開も目指します。

現在の社会は、様々な技術革新により豊かになってきていますが、IT や AI 技術の発展に伴い解決しなければならない多くの社会課題が指摘されているのも事実です。新しい技術で新しいサービスを生み出してゆき、社会の要請を先取する取組みも合せ対応して参ります。

## ※各団体のプロフィール

### 早稲田大学理工学術院総合研究所

2032年の創立150周年に向けた基本方針“Waseda Vision150”で掲げた理工学術院の研究・教育における国際化の推進にあわせ、社会の課題に応える7つの重点研究領域を新たに設置。それぞれの領域には研究所を開設し、専攻の枠を超えて、重点分野の国際的な研究力の強化を図り、世界トップレベルの研究を目指します。

### PCIソリューションズ株式会社

P (Positively)、C (Change)、I (Innovation) を社是とし、つねに積極的に変化と革新にみちたソリューションをお客様に提供する企業となることを目指しています。

### 株式会社リーふねっと

PCIグループの一員として、必要とされるライフスタイルを創造し、世の中の人・企業に提供しつつ、ネットワーク化することによってお客様や社会から支援され、なくてはならない企業となることを目指しています。

以上

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

PCIソリューションズ株式会社 研究開発事業部 (e-mail : [prd@pci-sol.com](mailto:prd@pci-sol.com))

PCIホールディングスグループは、「安心・安全・豊かな社会」の実現に向け、各種研究開発、エンベデッドシステム開発の豊かな実績で培ったIoT技術の応用により、新たなサービス領域へ積極的に挑戦します。